

## 2010 年度第 3 回 FD研究会の開催報告について

携帯電話やクリッカー等のモバイル・コミュニケーション・ツールを教室に導入した「学生参加型授業」の実践を紹介しながら、学生の“学びへの意欲”を喚起し、“主体的な学び”を支援する ICT（情報コミュニケーション技術）の意義について理解を深め、その導入と実践にあたって解決すべき課題を認識することを目的とした。

### 【開催概要】

テーマ：ICT(情報コミュニケーション技術)を活用した授業改善について考える

日時：2月23日(水) 13:00~15:30

対象：専任教職員、非常勤講師ならびに学生

### 他大学の事例に学ぶ

北海道大学高等教育推進機構の山田邦雅先生より、授業応答システム「クリッカー」を利用した能動的学習について報告があった。フォーラム参加者はこのシステムを実際に体験し、開発の背景と教育的意義について理解を深めた。



### 本学における実践事例

本学からは、授業中に学生が携帯電話から自由に発言を行い、これが即時にプロジェクタに表示させるシステム(開発：情報処理課三川氏)を利用した授業改善をおこなっている2名の教員から取り組みを紹介した。

社会情報学部大國教授は、携帯電話を活用したレスポンスシステムとコメント投稿システムを併用し、双方向型の授業を実現している。システム利用により、授業の理解と掘り下げに大きな役割を果たした。

経済学部浅川教授は、今年度を試行段階と位置づけ、有効な活用法の検証を進めた。システム利用によって学生からのリアクション内容の充実が図られ、今後解決すべき問題点を抽出できたことから、継続的に双方向型授業を実践する予定である。

### クリッカー製品の紹介

双方向対話支援システム「ソクラテック」を提供する株式会社 IC ブレインズから、大学等の教育機関や研修・イベント機関等での活用事例を紹介いただき、高等教育機関における双方向対話支援システム活用の可能性について理解を深めた。